

教科	農業	科目	草花	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	草花専攻
使用教科書	草花(実教出版)			使用副教材等	実習記録簿				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力の育成を目指す。草花の鉢物生産、苗物生産を通して、草花生産の特徴、栽培技術、草花が私たちの生活の中でどのような役割を果たしているか理解させるとともに、実習を通して植物の成長や変化に応じた栽培管理、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	草花に関する基本的な知識や技術を身につけ、課題解決に役立てることができる。また実習の中で得た知識や技術を実習記録簿を詳細に記入し、振り返りを行い、学びを深めていくことができる。	草花の鉢物及び苗もの生産の計画と工程管理・評価および栽培の特性、管理に関する課題を解決し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	草花生産の計画と工程管理について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・ワークシート ・実習記録簿	・定期考査 ・実習状況の観察 ・ワークシート ・実習記録簿 ・実験レポート	・ワークシート ・実習記録簿 ・座学、実習時の観察 ・ルーブリック

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・座学と実習とのつながりを意識して授業に取り組んでください。 ・実習では特に時間厳守を意識し、服装や身だしなみを正しく整えて授業に臨むようにしてください。 ・座学および実習では、自ら行動し(自主性)、仲間と協力して(協働)、片付けまで集中して(責任感)取り組むようにしてください。 ・実習で学んだ内容は、実習記録簿に詳しく記入して期限に遅れないように出すことを心掛けてください。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準		
1	4 5 7	○授業オリエンテーション (授業の進め方や実習に関する諸注意、評価の仕方などを学ぶ)	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度		
			座学	実験・実習	
		○草花園芸の特徴 ・草花生産と経営の特徴を理解する。 ・草花の種類、生産形態の特徴を理解する。	・草花の種類と特徴、分類について理解し、その利用について自分たちの生活に関連付けて考えることができている。(知)(思) ・草花の生産と経営上の特徴について理解できている。(知)		
		○草花生産と消費の動向 ・草花の消費の動向、流通について理解する。 ・高知県の草花栽培について理解する。	・草花の生産と消費動向について理解し、自分たちの生活の場面と関連付けて考えることができている。(知)(思) ・高知県の草花生産について、その特徴や流通について主体的に調べ、発表することができる。(思)(態)		
		○春夏栽培用苗物生産 ・苗物の栽培管理 土づくり、鉢上げ、鉢替え、花壇整備	・春まきの苗物生産の特徴を理解できている。(知) ・扱う草花の種類について理解できている。(知)	・苗物生産で使用する土の特徴を理解できている。(知) ・鉢上げ、鉢替えの作業の手順、注意点を理解し、正確に作業を行うことができている。(知)(態) ・効率よく作業ができるよう、周囲の状況を見て判断することができる。(思) ・主体的かつ協働的に作業に取り組むことができている。(態)	
	9	○草花の生育と環境 ・草花の生育の仕方や、形態について理解する。 ・草花の生育と環境要因との関係を理解する。 ・草花の生育・開花の調整方法について理解する。	・草花の一生について理解できている。(知) ・草花の生育と環境要因について理解できている。(知) ・実際に栽培している草花の栽培管理と関連付けて考えることができている。(思)	・環境制御装置の活用、eye-farm-cloudといったクラウドデータから、生育と環境制御との相関関係について粘り強く考えることができる(思・態)	

2	\ 1 2	○草花の生育と栽培技術 ・草花の生育環境と適切な栽培技術を理解する。 ・草花の品質と草姿を知り、その調節法を理解する。	・栽培に適した土、肥料の種類、施肥管理、かん水について理解できている。(知) ・鑑賞に適した草姿と品質向上に向けた栽培管理について理解できている。(知)	・鉢物生産、苗物生産で使用する土の役割について理解できている。(知) ・栽培に適した土づくりが実践できる。(思)(態) ・栽培しているシクラメンの品質向上に向けた栽培管理(葉組み)について、目的、作業手順を理解し正確に作業を行うことができる。(思)(態)
3	1 \ 3	○品種改良と繁殖 ・品種の重要性と品種改良の目的を理解する。 ・品種改良と繁殖のさまざまな方法を理解する。	・草花が観賞を目的にしているという点から、品種改良の重要性とその目的が理解できている。(知) ・品種改良の過程と方法について理解できている。(知) ・学校で栽培しているシクラメンの品種「はたのう紅」の歴史について理解できている(知)(思)	・シクラメンの交配の目的、方法を理解できている。(知) ・交配に使う蕾を正しく選び、処理できる。(思)(態) ・シクラメンの交配が正しく実践できている。(思)(態) ・次の世代につながる重要性を理解し、丁寧且つ協働的に作業ができている。(態)